



余田小 学校だより



令和8年6月2日
全校児童 42名

水無月

【学校教育目標】言葉を大切にする学校 ～「よ」き心・「た」しかな学び・「余田」を誇る～
【めざす学校像】言葉を大切にし、生き抜く力を育むために、家庭や地域とともに歩む学校
【めざす児童像】学びを楽しめる子・自他を大切にする子・たくましく生き抜く子



「言葉を大切にする学校」



校長 真山 義憲

紫陽花の花が色づき始め、梅雨の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。特に、5月20日からのクマへの対応では大変お世話になりました。5月20日以降、余田周辺ではクマの目撃情報はございませんが、今後も児童の安全を第一に考え、クマへの警戒を継続してまいります。児童全員に熊鈴を持たせ、現在は通常の登下校に戻しておりますが、家や通学路の場所によっては状況が異なってきます。ご心配な方は引き続き、登下校の送迎や見守り活動をよろしくお願いいたします。

さて、今月のタイトルは「言葉を大切にする学校」です。これは、余田小学校の学校目標です。日本には古代より「言霊」（ことだま）という概念があります。古代の日本人は、言葉に霊が宿っており、その霊のもつ力が働いて、言葉に表すと現実になると考えていたそうです。科学技術が発達した現代社会において、言葉に霊が宿るかどうかはさておき、言葉の力は、人の心に大きく影響を与えます。人から「ありがとう」「ごめんね」「すごいね」「よくがんばったね」「だいしょうぶよ」などの言葉をかけられたとき、人は嬉しい気持ちになります。「やってよかった」「もっとがんばってみよう」というふうに前向きな行動につながる要因になります。反対に「うざい」「おまえのせいじゃ」「だめだね」などの否定的な言葉をかけられたときはどうでしょうか。その言葉は心に重くのしかかり、悲しくて自分が否定されたような気持ちになります。

「こころ」はだれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど 「思いやり」はだれにでも見える
出典：宮澤章二『行為の意味』

これは、ACジャパンの広告で以前よく見かけた言葉です。

心の中にある相手への思いも「ありがとう」「ごめんね」などのきれいな言葉、優しい言葉で表せば、「こころづかい」や「思いやり」という見える形で相手に伝わります。そしてその言葉のもつ力が人の心を温かくしてくれます。余田小学校では、言葉を大切にして、自分の心の中にある優しい「こころ」や「思い」を相手に伝え、たくさんの人とのよい人間関係を築いていってほしいと思います。

雨が心配されましたが、天候に恵まれ今年も予定通り23日土曜日に
余田小学校・地区ふれあい大運動会を開催することができました。



保護者・地域の皆さんの声援を受け、どの子どもも力いっぱい走ったかけっこ、徒競走。悔し涙を流す高学年の姿が印象的でした。

全校競技「余田っ子台風ーン」赤白大接戦でした。



下学年・上学年の親子競技。家族や地域の方と一緒に踊ったフォークダンス。子どもたちの思い出に残る運動会になりました。今年も、昨年以上にたくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

昨年に引き続き、専門の先生に考えていただいた余田小オリジナルダンス。優しく楽しく教えていただき、全校児童で踊りました。笑顔で楽しそうに踊る子どもたちの姿に、たくさんの拍手をいただきました。



赤白リレー。下学年も、上学年もカー杯走り、最後までバトンをつなぐことができました。子どもの数は減りましたが、応援の声、声援の大きさより大きくなっているように感じました。

大接戦の末、今年も赤組に勝利の女神がほほえみました。子どもたちは、これから来年の運動会に向けて、力いっぱい体育科の学習や外遊び、スポーツに取り組んでいきます。これからもご声援よろしく願いいたします。

5・6年生が、種もみを植え、米の苗を育てています。現在、順調に成育中です。6月中旬以降に田植えを予定しています。



1～3年生と余田保育園の年長児さんとでサツマイモの苗植えをしました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

お知らせ

6月13日(土)
土曜参観
学校保健委員会

6月26日(金)
余新合同引き渡し訓練

ご参加よろしく願い
します。